

令和2年度  
高松市美術館協議会資料

美術館美術課

# 目 次

## 令和元（平成31）年度事業報告

1	高松市美術館	
(1)	展覧会・貸館	2
(2)	講演会・講座等	5
(3)	芸術的催し物	11
(4)	施設の提供	12
(5)	美術資料の収集	12
(6)	美術館ボランティアの活動	15
(7)	高松市美術館サポートショップ事業	15
(8)	新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業	15
2	高松市塩江美術館	
(1)	展覧会	16
(2)	美術講座等	17
(3)	その他事業	18
(4)	美術資料の収集	19
(5)	新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業	19

## 令和2年度事業計画

1	令和2度高松市立美術館の運営方針	21
2	高松市美術館	21
3	高松市塩江美術館	24
4	令和2年度予算	26

# 令和元（平成31）年度事業報告

# 令和元（平成31）年度事業報告

## 1 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 136,097人

### (1) 展覧会・貸館

美術館主催展として特別展及び常設展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリーを美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

#### ◎ 展覧会

開催展数：60展（貸館を含む）

開催延日数：733日間

入場者数：111,636人（1日平均 152.3人）

#### ア 特別展

開催展数：5展 開催日数：182日間 入場者数：30,916人（1日平均 169.9人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業 高松市美術館コレ クション+ ギホウのヒミツ 0 JUN、鬼頭健吾、 田淵太郎とともに	4/20(土) ～5/26(日)	33日	3,441	特定のテーマのもと美術館コレクションとゲスト作家による作品を組み合わせる「高松市美術館コレクション+」。今回は「技法」に注目し、作品制作の際に用いられる多彩な技法を紹介し、日本の現代アートの魅力に迫りました。ゲスト作家：0JUN、田淵太郎、鬼頭健吾
瀬戸内国際芸術祭 2019 参加展覧会 (tk14) 宮永愛子：漕法 <small>そうほう</small>	7/17(水) ～9/1(日)	42日	10,174	常温で昇華するナフタリンなどで「変わりながら存在し続ける世界」を表現する宮永愛子は、瀬戸内海の景色やそこで暮らしてきた人々が積み重ねてきた時間をテーマに9つのインスタレーションを展開。また、叩くと音の鳴る香川名石「サヌカイト」を素材とした新作インスタレーション《漕法Ⅱ》を発表。ある家族が四世代にわたり収集した石の一部、約13トンのサヌカイトを潮流のように並べ、地球史的な時間と人間の私的な時間が混ざり合う生命の流れを表現した。
瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業 高松コンテンポラ リーアート・アニ ュアル vol.08／社 会を解剖する	9/28(土) ～11/4(月)	33日	3,251	独創性、創造性のある作家を発掘紹介する、年に一度開催の現代美術のグループ展の第9回目。毎回テーマに沿った招待美術家による想像力あふれる作品を展示。アーティストトーク等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信した。出品作家：碓井ゆい、盛圭太、照沼敦朗、加藤翼、村上慧

安野光雅 空想と 風景 絵本原画の 魅力	11/12(火) ～12/22(日)	36 日	7,429	独特のユーモアと想像力、繊細な画風 で知られる、画家・安野光雅。現在も高 い人気を誇るデビュー作『ふしぎなえ』 をはじめとする絵本原画や旅先で描か れた日本、ヨーロッパの風景画など約 130 点を紹介しました。
開校 100 年 きた れ、バウハウス —造形教育の基礎 —	2/8(土) ～3/22(日)	38 日	6,621	2019 年バウハウス開校 100 年を記念し 開催された展覧会。斬新な芸術教育に よりモダンデザインの豊かな水脈を切 り拓いたバウハウスの全体像とその魅 力を、クレー、カンディンスキーら錚々 たる教授陣や当時の学生の作品をはじ め、ユニークな授業を鑑賞者自ら体験 できるコーナーなど、多彩な内容によ り立体的に紹介しました。(新型コロナ ウィルス感染症拡大防止のため体験コ ーナーは 2 月 29 日より閉鎖)
合計		182 日	30,916	

イ 常設展

開催展数：4 展 開催日数：288 日間 入場者数：24,669 人 (1 日平均 85.7 人)

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第 1 期	4/9(火) ～6/23(日)	67 日	3,989	常設 1 コレクション+ ギホウのヒミツ 版画編 常設 2 コレクション+ ギホウのヒミツ 漆芸編
第 2 期	6/29(土)～ 9/23(月・祝)	76 日	10,045	常設 1 Colors—いろいろないろ 常設 2 現代工芸—真子実也を中心に
第 3 期	9/28(土) ～12/22(日)	74 日	6,325	常設 1 美術館今昔ものがたり 瀬戸内 国際芸術祭の作家たち 常設 2 美術館今昔ものがたり 黎明期 の高松美術館
第 4 期	1/5(日) ～3/29(日)	71 日	4,310	常設 1 現代アートにおける「時間」 常設 2 蒔醬 太田壽氏を偲んで ※3/14～3/29 の期間は、常設展示室 1 において「第 37 回日本伝統漆芸展」 を開催。(1,243 人)
合計		288 日	24,669	

ウ 貸館

(ア) 一般展示室・企画展示室

開催展数 16 展 開催日数 71 日間 入場者数 30,720 人 (1 日平均 432.7 人)

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第 12 回青澄かな書作展	4/6(土) ～4/7(日)	2 日	2,947	同会会員の書の作品
第 46 回高松市民美術展	4/9(火) ～4/14(日)	6 日	1,636	各会の会員の作品
第 28 回由源香川書展	5/31(金) ～6/2(日)	3 日	2,211	同会会員の書の作品
第 78 回創元展	6/4(火) ～6/9(日)	6 日	1,420	同会会員の油彩画等の作品
第 50 回記念青龍書展	6/12(水) ～6/16(日)	5 日	2,135	同会会員の書の作品
第 30 回道香社書作展	6/21(金) ～6/23(日)	3 日	825	同会会員の書の作品
独立美術四国会展	7/2(火) ～7/7(日)	6 日	803	同会会員の絵画の作品
第 61 回墨華書道展	9/7(土) ～9/11(水)	5 日	2,120	同会会員の書の作品
第 46 回毎日書道学会展	9/13(金) ～9/15(日)	3 日	726	同会会員の書の作品
第 32 回日工会工芸美術四国会展	9/18(水) ～9/23(月)	6 日	838	同会会員の工芸作品
第 11 回一榮会書展	9/20(金) ～9/23(月)	4 日	707	同会会員の書の作品
令和元年度高松市教育文化祭展覧会	1/10(金) ～1/13(月)	4 日	6,197	市内小・中学校児童、生徒の作品
第 16 回香川県小・中学校総合文化祭 展覧会	1/10(金) ～1/13(月)	4 日	6,197	県内小・中学校児童、生徒の作品
第 36 回香川県高等学校総合文化祭美術・工芸展	1/16(木) ～1/19(日)	4 日	635	県内高校生の美術・工芸作品
第 36 回香川県高等学校総合文化祭書道展	1/16(木) ～1/19(日)	4 日	591	県内高校生の書の作品
第 54 回日本墨彩画院展	1/21(火) ～1/26(日)	6 日	732	同会会員の墨彩画作品
合計		71 日	30,720	

(イ) 市民ギャラリー

開催展数 35 展 開催日数 192 日間 入場者数 25,331 人 (1 日平均 131.9 人)

## (2) 講演会・講座等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催した。また、小学生を対象とした「子どものアトリエ」や各種ワークショップ等を開催した。

### ア 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内容	参加者数 (人)
4/20(土)	0 JUN、鬼頭健吾、田淵太郎 (特別展出品作家)	高松市美術館コレクション+展 アーティスト・トーク	78
4/30 (火・振休)	0 JUN (特別展出品作家)、石田 尚志 (画家・映像作家)	高松市美術館コレクション+展 0 JUN×石田尚志 対談	40
7/20(土)	宮永愛子 (特別展出品作家)、小 野正嗣 (作家・『日曜美術館』キ ャスター)	宮永愛子展 アーティスト・トーク 宮永愛子×小野正嗣	205
8/24(土)	宮永愛子 (特別展出品作家)、中 野量太 (映画監督)	宮永愛子展 ナイトミュージアム 「宮永愛子×中野量太」トークシ ョー	89
9/28(土)	碓井ゆい、盛圭太、照沼敦朗、 加藤翼、村上慧 (特別展出品作 家)	高松コンテンポラリーアート・ア ニュアル vol.08 展 アーティスト・トーク	55
11/3(日)	谷本重義 (画家)、明石安哲 (コ ラムニスト)、中條亜希子 (高松 市歴史資料館学芸員)	第3期常設展「美術館今昔ものが たり」 リレートーク	48
12/8(日)	辻川幸一郎 (映像作家) 聞き手: 林綾野 (キュレーター)	安野光雅展 記念講演会 「安野光雅さんは、空想と好奇心 の先生だった」	123
2/8(土)	杉田佳穂 (ミサワバウハウスコレクシ ョン学芸員、展覧会監修者)	バウハウス展 記念講演会 1 「バウハウスの授業と学生生活」	112
3/7(土)	梅宮弘光 (神戸大学大学院教授)	バウハウス展 記念講演会 2 「高松から始まる戦後モダニズ ム ー建築家・山口文象と旧高松 市立美術館」	中止
参加延べ人数			750

### イ 館長講座「まぶさび教室」

開催日	講師	テーマ	内容	参加者数 (人)
5/11(土)	篠原資明 (当館館長)	シーズン6 「ヤワコい日 本のワタシ」	空海	50
6/1(土)			慈円	49
7/6(土)			利休	71
9/7(土)			蕪村	50
10/5(土)			森村泰昌	41

11/2(土)	篠原資明 (当館館長)	シーズン7 「泰西ヤワコ い探し」	グラシアン:イエズス会のマニエ リスト	35
12/7(土)			ルソー:祝祭と民主主義	46
1/11(土)			ヴァレリー:テスト氏の美と政治	39
2/1(土)			サティ:絵描きの音楽家	58
3/7(土)			コクトー:超絶ヤワコい	中止
参加延べ人数				439

ウ ギャラリートーク

(ア) 特別展

展覧会名	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業 高松市美術館コレクション+ ギホウのヒミツ 0 JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに	担当学芸員	1	14
瀬戸内国際芸術祭 2019 参加展覧会 (tk14) 宮永愛子:漕法 <small>そうぼう</small>	担当学芸員	1	36
瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業 高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol. 08/社会を解剖する	担当学芸員	1	15
安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力	担当学芸員	3	112
開校 100 年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—	担当学芸員	1	46
参加延べ人数		7	223(内数)

(イ) 常設展

展覧会名	開催日	担当者	参加者数 (人)
常設 1 期	5/6(月)	担当学芸員	19
常設 2 期	9/7(土)	担当学芸員	31
常設 3 期	10/5(土)	担当学芸員	29
常設 4 期	1/25(土)	担当学芸員	3
第 37 回 日本伝統漆芸展	3/14(土)	大谷早人 (監査及び審査委員/理事)	中止
	3/22(日)	石原雅員 (漆芸家)	中止
参加延べ人数			82(内数)



エ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
5/3(金)	筆塚稔尚(版画家・常設展出品作家)	「プチ・エッチング体験！」	中学生以上	3階講座室	9
5/4(土)、5(日)	レトロ印刷 JAM スタッフ	「SURIMACCA でシルクスクリーン体験」	小学生以上	3階講座室	29
10/14(月・祝)	伊達隆洋(京都造形芸術大学准教授)	「目からウロコ!の鑑賞教室」	20歳以上	講堂	33
11/23(土・祝)	押江千衣子(画家)	「風景を描いてみよう」	小学生以上	高松市立中央公園	13
12/1(日)	当館学芸員	「ものがたり絵本をつくろう」	3歳～小学2年生	3階講座室	15
12/7(土)	当館学芸員	「ものがたり絵本をつくろう」	小学3年生以上	3階講座室	18
2/22(土)	山端篤史(造形作家)	「バウハウスであそぼう！」	小学生以上	中2階ロビー	17
3/29(日)	下道基行(美術家)	「見えない風景」	中学生以上	館内及び周辺	中止
参加延べ人数					134

オ イベント(公開制作・パフォーマンス)

開催日	講師	内容	場所	参加者数(人)
4/20(土)	鬼頭健吾(特別展出品作家)	公開制作	1階エントランスホール	53
4/27(土)～4/30(火・振休)	0 JUN(特別展出品作家)	公開制作	2階展示室	特別展入場者数に含む
8/3(土)		美術館の日「探検カード」	エントランスホール、1・2階展示室、中2階ロビー、こども+	187
8/24(土)	中野量太(映画監督)	ナイトミュージアム「琥珀色のキラキラ」上映	1階講堂	89
9/20(金)～9/26(木)	村上慧(特別展出品作家)	滞在制作	1階玄関前	

9/28(土)、 29(日)	盛圭太(特別展出品 作家)	公開制作	2階展示室	特別展 入場者数 を含む
11/12(火)～ 1/13(月・祝)		段ボールのお城めい ろ	エントラン スホール	3,354
11/24(日)	高松本とおはなしの 部屋	おはなし会	こども+	16
12/1(日)	当館学芸員	ドキドキ婚活ミュー ジウム!?	講堂・展示 室	40
12/14(土)	高松本とおはなしの 部屋	おはなし会	こども+	25
2/29(土)	岡本康明(元・京都 造形芸術大学芸術館 館長、教授) 語り・音楽構成:下 地由希子(プレアデ ス主宰)	再現授業「ヨハネス・ イッテンのデッサン」	1階講堂	中止
参加延べ人数				3,764

カ 子どものアトリエ

開催日	講師	テーマ	対象	場所	参加 者数 (人)
7/27(土)	高本敦基 (美術家)	夏休み!美術館ワークショッ プ「風景を着る。海・空Tシ ャツ」	小学生以上	中2階 ロビー	31
7/28(日)	y工房さとう ゆうじ・ゆき (美術家)	夏休み!美術館ワークショッ プ「カラフルなあそび場をつ くろう」	小学生 ～中学生	中2階 ロビー	37
3/14(土)	上野あづさ (美術家)	「ここがわたしのぼしょ!～ みんなの家づくり～」	3歳 ～未就学児	中2階 ロビー	中止
参加延べ人数					68

## キ ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより中2階に新設された「こども+(プラス)(こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。(こども+(プラス)(こどもアートスペース)利用者数は3,417人)

毎週木・土曜日 12:00~16:00

内容	参加者数 (人)
空までとどけ!のぼり人形をつくろう	378
とびだせ!びっくり人形	400
ちぎり紙プールであそぼう/ちぎり紙でじゃばら絵本をつくろう	321
紙織コースターをつくろう/水ねんどで顔をつくろう!	179
参加延べ人数 (内数)	1,278

## ク 出前講座

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数 (人)
6/8(土)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	林コミュニティセンター	25
9/19(木)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	川東コミュニティセンター	30
10/25(金)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	新番丁小学校	30
11/9(土)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	6
11/13(水)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	高松市社会福祉協議会	48
1/26(日)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	社会福祉法人洋々会 あじの里	10
参加延べ人数				149

## ケ 美術館学習等 (延べ1,129人)

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松-美術館間の交通費を負担)、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。6月14日から2月18日まで、参加校:9小学校 延べ人数:588人(引率者を含む)

また、サンクリスタル学習以外の美術館学習は、参加校14校、延べ541人であった。

コ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数 (人)
4/16(火)、 17(水)	高松工芸高校美術科 16日2年生12人 17日1・2年生12人	特別展「高松市美術館コレクション+ 技法の秘密」鬼頭健吾作品展示においてアシスタントをした。	2階 展示室	延べ24
11/12(火) ～12/22(日)	古高松南小学校 (3年生、116人) 古高松小学校 (2・4年生、4人) 木太小学校 (3年生、81人) 白山小学校 (1～3年生、132人) 香川大学教育学部附属 高松小学校 (1年生～6年生、30人)	「おおきなものだいさくせん」と題し、特別展「安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力」に原画を展示した絵本を題材とした作品を募集し、館内に展示した。	2階展示室 廊下及び 中2階 ロビー	363
1/30(木)他	高松工芸高校デザイン科 2年生30人	特別展「きたれ、バウハウス」 フोटスポット用お面を制作した。	高松工芸 高校、美術館2階 展示室廊下	30
1月～ 2/7(金)	香川大学創造工学部 大場晴夫教授	特別展「きたれ、バウハウス」 関連企画「開館70年 よみがえる旧・高松美術館 模型公開」の開催に際し旧美術館建築模型を製作した。	香川大学 創造工学部、美術館2階 展示室廊下	1
参加延べ人数				418

サ 美術館の日

「美術館の日」(8月第1土曜日8月3日)に、展覧会の観覧料を無料としたほか、「ふらっとアート」など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

特別展観覧者1,048人、常設展観覧者926人、展示室での鑑賞を促す探検カード利用者187人、ふらっとアート参加者105人、ミニコンサート138人などの来館者(全て内数)があった。

シ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等(延50人)

博物館実習の実施については、愛知県立芸術大学ほか5大学から博物館実習生6名を受け入れた(7/30～8/4)。香川県立高松工芸高校インターンシップ6名(7/9～7/12)、インターンシップ実習生5名(8/21～8/25)、徳島文理大学「博物館展示論」9名(9/18)、高松短期大学の学生ボランティア延べ6名(11月)をそれぞれ受け入れた。中学生の職場体験としては、高松市立国分寺中学校ほか6校から延べ18名の中学生を受け入れた。(9月～12月)

ス 美術館友の会イベント

内容	開催日	行事名	講師・出演者等	関連する展覧会	参加者数(人)
友の会 スペシャル イベント	5/19 (日)	田淵太郎ワーク ショップ・七輪 でやきもの!	田淵太郎(陶芸家)	高松市美術館コレク ション+ ギホウの ヒミツ	15
	11/2 (土)	クロージングト ーク～社会を解 剖して～	篠原資明(当館館 長)、橘美貴(特別展 担当学芸員)	高松コンテンポラリ ーアート・アニュー アル vol.08 社会を解 剖する	37
友の会美術 鑑賞旅行	10/14 (月・祝)	瀬戸内国際芸術祭 2019 ツアー ヘアサロン壽-夕暮れの島 (女木島)			17
	3/3 (日)	神戸アート紀行(BB プラザ美術館、兵庫県立美術館)			38
参加延べ人数					107

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等を開催した。

内容	開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	入場者数(人)
ミニ コンサ ート	5/25 (土)	歌の技法～フランス、 ドイツ、日本の歌曲を 味わう～	宮本早苗 大山晃 大山宙透 大山まゆみ	高松市美術館コレクシ ョン+(プラス)-ギホウの ヒミツ	83
	8/3 (土)	SONGS -海と空のこえ-	香川大学ウィン ド・アンサンブル	宮永愛子 漕法	138
	10/12 (土)	現代の箏 紡ぐ- 箏・17 絃・25 絃の響 き-	山本雅史麗 西森敬二	高松コンテンポラリー アート・アニューアル vol.08 「社会を解剖す る」	89
	11/30 (土)	音でたどる、風景	豊永久美子 西垣和美 大山まゆみ	安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力	123
	3/15 (日)	20 世紀音楽とバウハ ウス	波多翼	きたれ、バウハウス	中止
参加延べ人数					433

イ 美術館友の会との共催によるエントランスホール催し

内容	開催日	行事名	主催	入場者数(人)
友の会 ふれあい コンサート	7/13(土)	On a starry night ～星ふる夜に～	高松市美術館 友の会・高松市 美術館	151
	1/18(土)	Clarinet & Piano Winter Concert 音の手紙		109
参加延べ人数				260

(4) 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナーを一般利用者に開放した。

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	12 回	3,015 人
講座室	450 回	6,863 人
美術図書コーナー	287 日	3,465 人

(5) 美術資料の収集

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945 年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた 20 世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努める。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集する。

(美術品)

(単位：点)

区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計	
平成 31 (令和元) 年度購入	4	—	7	—	—	11	
平成 31 (令和元) 年度寄贈	—	—	1	42	—	43	
平成 31 (令和元) 年度合計	4	—	8	42	—	54	
累計	794	46	268	572	16	1,696	
内訳	購入	644	24	236	394	12	1,310
	寄贈	150	22	32	178	4	386

(図書)

(単位：冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	133	82	—	215	32,403
展覧会図録	19	240	—	259	18,908
合計	152	322	—	474	51,311

## ■新規収蔵作品

区分	種別	作品名(制作年)	作家名	
購入	平面(油彩)	バベル(2019)	風間サチコ	
		ミエナイノゾミちゃんとユウモクセイ(2018)	照沼敦朗	
		ミエテルノゾム君とユウモクセイ(2019)	照沼敦朗	
	平面(映像)	ミエテルカー(2016)	照沼敦朗	
	立体(彫刻)	Stepladder(2018/2020)	大西伸明	
		Plumment(2018/2020)	大西伸明	
		Glass(2018)	大西伸明	
		Barbaric White BII(2017)	田淵太郎	
		Barbaric White P I(2019)	田淵太郎	
		waiting for awakening -wall clock-(2019)	宮永愛子	
		lens -sanukite-(2019)	宮永愛子	
	寄贈	立体(彫刻)	shoha burokku(2008-14)	大西伸明
		工芸(漆芸)	堆黒香盒(不明)	玉楮蔵黒
讃岐彫 堆黒香盒 忘貝圖(1931)			川上石雲	
紅花緑葉 桐鳳凰之圖 香盒(1928)			石井磬堂	
堆黒香盒(不明)			石井磬堂	
堆朱香盒 葦蟹之図(1927)			石井磬堂	
堆黒香盒(不明)			石井磬堂	
讃岐彫(不明)			石井磬堂	
堆朱香盆(1924)			石井磬堂	
手向山圖 堆黒香合(不明)			高橋皖山	
堆黒香盒(1918)			高橋皖山	
堆朱香合 竹之図(不明)			森 象堂	

寄贈	工芸 (漆芸)	蒟醬 棗(不明)	森 象堂
		狹貫彫 香合 蝶之罫(不明)	森 象堂
		堆朱 唐子香合 (不明)	鎌田稼堂
		忘貝 香合(不明)	鎌田稼堂
		堆漆 若草 香盒(不明)	鎌田稼堂
		鶴 香盒(不明)	鎌田稼堂
		堆黃 海老 香合(不明)	鎌田稼堂
		讀岐彫堆黒 肉池 風月三昆之圖(不明)	佐々竹僊
		堆黒琳和靖香合(不明)	音丸耕堂
		彫漆 茶入 雲鶴(不明)	音丸耕堂
		蟹香合(不明)	山下光雪
		堆黒香合 露臺(不明)	山下楊哉
		群鶴 香合(不明)	淺田真水
		彫漆 虫之罫 香盒(不明)	池内荷芳
		堆黒甲虫香盒(1932)	池内荷芳
		白檀材 翁面帶止(1939)	池内荷芳
		彫漆 梅之圖平棗(不明)	池内荷芳
		蒟醬 金魚文小箱(不明)	池内荷芳
		洋蘭文小筥(1959)	池内荷芳
		彫漆茶入(不明)	岡部敬象
		彫漆蓋置(不明)	岡部敬象
		堆漆香合(不明)	岡部敬象
		彫漆渦文香合(不明)	北岡省三
		堆朱 華甲 香盒(1921)	神崎軒水
		堆朱 魚籃觀音 香合(1921)	神崎軒水
		堆黒 風月三昆 香盒(不明)	神崎軒水
		小筥(1954)	山本象石
		堆黒 蟻螂 香合(不明)	逸見東洲
		棗 菊桐(不明)	内藤俊一
		堆朱 立田香盒(不明)	内藤俊一
		木彫棗(不明)	富山昇齋



## (6) 美術館ボランティアの活動

### ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア c i v i (シヴィ)を設置し、平成 11 年度から活動を行っている(元年度登録者数 15 人)。令和元年度は、特別展のギャラリートークのほか、ワークショップのアシスタントなどの活動を行った。また、令和元年度より図書整理ボランティア 8 名が図書整理補助を行った。

### イ ギャラリートーク

特別展	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業 高松市美術館コレクション+ ギホウのヒミツ 0 JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに	美術館ボランティア	5	57
瀬戸内国際芸術祭 2019 参加展覧会 (tk14) 宮永愛子：漕法 <small>そうほう</small>	美術館ボランティア	7	183
瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業 高松コンテンポラリーアート・ アニュアル vol. 08 / 社会を解剖する	美術館ボランティア	8	108
安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力	美術館ボランティア	5	106
開校 100 年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—	美術館ボランティア	5	122
参加延べ人数		30	576(内数)

## (7) 高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗(125 店舗)で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。

また、平成 25 年度からは、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入している。

## (8) 新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業

ア 臨時休館 3月31日(火)～4月5日(日)

イ 臨時休室 美術図書コーナー：3月5日(木)～5月24日(日)

こどもアートスペース：3月5日(木)～5月31日(日)

## 2 高松市塩江美術館

美術館主催事業として企画展及び常設展を開催するとともに、企画展示室・ホールを貸館として個展の利用に供した。約7か月間の改修工事を終え4月2日（火）からリフレッシュオープンした。

高松市塩江美術館の利用者数 19,212人

### (1) 展覧会

開催展数 11展（内訳／企画8展・常設3展）

開催延日数 560日間

入場者延数 17,371人（1日平均31.0人）

ア 企画展 開催展数：8展 開催日数：259日間 入場者数：8,681人（1日平均33.5人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
1 美術館リフレッシュオープン企画 中井弘二郎展ーfeels through itー	4/2(火) ～5/12(日)	37日	1,659	美術館のリフレッシュオープンを記念して、地元塩江町在住の彫刻家中井弘二郎の作品を紹介。
2 開館25周年記念「学芸員が選ぶ収蔵品ベストセレクション展」	5/18(土) ～6/23(日)	32日	697	開館25周年を迎えこれまで美術館を支え勤務してきた歴代学芸員(4名)と、現職学芸員(2名)からの目線で、当館収蔵品からセレクトした作品を紹介。
3 山口一郎展トリトリどり	6/29(土) ～8/4(日)	32日	1,450	香川県在住の山口一郎による独創的で色鮮やかに大胆な線で描かれた絵画作品を紹介。
4 塩江温泉鉄道ー風景と記憶ー	8/10(土)～ 9/23(月・祝)	39日	2,364	昭和初期、仏生山から塩江まで通っていた鉄道の軌跡を地元の大学、高専学生等が調査した成果を紹介。
5 かがわ・山なみ芸術祭2019 連携企画「山のひかりを求めて」	9/27(金) ～10/20(日)	21日	962	香川県の山間部を開催地としてNPO法人が主宰となり開催されている芸術祭との連携企画展。
6 島村敏明展 on my way home	11/12(火) ～12/22(日)	36日	625	岡山県在住の島村敏明による絵具とその筆跡によるイメージから新しい絵画空間を生み出そうと描かれた作品を紹介
7 景色めぐりー讃岐を旅するー	1/4(土) ～1/26(日)	20日	414	風光明媚な場所が点在する香川(讃岐)の名所を昔から現在にいたる作家により描かれた作品を紹介。
8 松村武夫展ーふたつの仕事からー	2/11(火) ～3/29(日)	42日	510	香川県在住の松村武夫の落ち葉をモチーフにした二つのシリーズ作品を中心に紹介。

イ 常設展（3期） 開催日数：312日間 入場者数：8,690人（1日平均27.9人）

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第Ⅰ期 美術館収蔵 25 周年記念 「熊野俊一—ふるさとへの贈り物—」	4/2(火)～ 8/12(日)	115 日	4,136	作品の中に現れる物理的な光だけにとどまらず、そこに込められた希望や輝く存在感を描いた作品に注目。当館コレクションから 20 点を紹介。
第Ⅱ期 「画家たちのまなざし」	8/20(火)～ 12/8(日)	96 日	3,394	4 人による異なるジャンルで、各画材が持つ特徴を生かし描かれた作品約 24 点を紹介。
※第Ⅲ期 「感性との出会い！」	12/14(土)～ 4/12(日)	101 日	1,160	3 人の作家作品から画面全体に滲み出る感性により表現された作品を紹介。

※次年度開催(日数区切り)

## (2) 美術講座等

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講。

### ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容	参加者数 (人)
企画展関連「動物を作ろう！」	4/28(日)	中井弘二郎	銅板をはんだごてで接着して動物を制作。	6
企画展作家による公開制作	展覧会開催 期間中の土 曜日・日曜日	中井弘二郎	木彫を美術館デッキにて制作する様子を来館者に公開。	不特定多数
スプレーアート体験 ワークショップ	5/3(金)	DAISUKE	缶スプレーだけで、絵画作品を描く体験。	4
bampoo シェード作 ろう！	5/5(日)	藤嶋則仁他	竹にドリルで穴をあけてランプを制作。	10
写真コラージュワー クショップ 走れ！ ガソリンカー	7/28(日)	香川大学生 他	塩江の昔の写真などを使用してコラージュ作品を制作。	1
立体ガソリンカーぬ り絵にチャレンジ！	8/12(月)	地域おこし 協力隊他	段ボールで立体にしたガソリンカーを自分色で着色。	8
ひろがるいろ	11/23(土)	島村敏明	マジックとエタノールを使い布に描いた色の滲みを楽しんだ。	14
企画展「島村敏明 展」 クロージングライブ	12/22(日)	バンド ルージン	Luzhin のボーカル西村の弾き語りを中心に演奏し、展覧会のテーマから着想を得た楽曲などを披露。	24

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容	受講者数 (人)
風鈴づくり教室	7/14・15	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。1日2回開催。	延べ 46人 (14日 23人) (15日 23人)
陶芸教室	9/21・28, 10/5・12・19, 11/2	田淵 太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。	延べ 90人 (各日 15人)

ウ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

タイトル	開催日	内容	観覧者 (人)
高松市塩江美術館 リフレッシュオープン イベント	4/2(土)	塩江温泉感謝祭実行委員会による美術館オープンイベントで、瀬戸内サーカスファクトリー、ツチヤサーキット&いづみこ(カントリーミュージック)、青柳妃姫(ヴァイオリン)による祝典	130

(3) その他事業

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供。

貸出場所	行事名	会期	入場者数 (人)	内容
企画 展示室	戸田由美子作品展 I M A G E	10/26(土) ～11/4(日)	282	高松市在住の戸田由美子による写真展。入場料無料。
企画 展示室 ホール	四国素展	1/29(水) ～2/2(日)	482	四国素展実行委員会主宰による四国四県の障がい者施設に通う障がいを持った人たちの作品を紹介。

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

5月25日(土) 博物館実習生の施設見学(四国学院大学) 7名

ウ 美術館の日 【8月3日(土)】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来。平成21年度から8月の第1土曜日を『美術館の日』と定め、美術館の観覧料免除や親子で楽しめるイベントなどを実施して、市民が美術館で一日有意義に過ごしていただけることを趣旨として開催。

(1) 入館者数及び参加者 221人

(2) 無料ワークショップ (子供から大人まで対象)

①海の生き物を作ろう! ②サンドアートに挑戦!

エ 美術館のデッキ等の貸出

行事名	会期	場所	入場者数 (人)	内容
コンサート開催	4/13	デッキ	107	管楽器などによるコンサートを開催
	5/18		58	
	6/8		45	
	11/16		57	
ワークショップ開催	8/20	デッキ 及び 喫茶室	19	子供を対象としたワークショップを開催
企画展示室貸出関連	1/29 ～2/2	喫茶室	230	企画展使用者が来客の休憩スペースとして利用

(4) 美術資料の収集

ア 収集の方針

- (ア) 香川県にゆかりのある作家の作品
- (イ) 塩江に関する資料等

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈などにより美術品の収集に努める。

(単位：点)

区分		洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他	計
令和元年度 取得作品	購入	1	—	—	—	—	—	1
	寄贈	—	—	—	—	—	6	6
累計		666	7	12	13	119	459	1,276
内訳	購入	47	—	6	7	—	1	61
	寄贈	619	7	6	6	119	458	1,215

※その他(写真、熊野俊一資料、藤澤東咳関連書籍、芸術祭作品)

(5) 新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業

臨時休室 常設展示室の図書コーナー：3月5日(木)～5月24日(日)

# 令和2年度事業計画

# 令和2年度事業計画

## 1 令和2年度高松市立美術館の運営方針

「高松市立美術館運営方針」に基づき、「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館」を目指し、「高松市の美術館としての独自性や創造性を生かしつつ効率的な運営」を進めていく。

### <高松市美術館>

平成28年3月のリニューアルオープン以降、展覧会来館者数や貸館等の施設利用者数は、リニューアルオープン前に比べ総体的に増加しており、引き続き、内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップや講座等、子どもたちが豊かな感性を育むことができる教育普及事業の充実に取り組んでいく。また、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指していく。

### <高松市塩江美術館>

一昨年度に約8か月間の改修工事を終え、装いも新たに塩江温泉を背景にした山間の豊かな自然環境に立地する地域特性を生かした、芸術・文化を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根ざした取組を進めていく。

なお、現行の運営方針が今年度で期間終了となることから、今回の協議会において、改正案について審議するもの。

## 2 高松市美術館

### (1) 展覧会・貸館

#### ア 特別展

展覧会名	会期	日数	内容
絵本原画ニャー！ 猫が歩く絵本の世界	4/18(土) ～6/14(日) *4/22(水) ～5/10(日) 臨時休館	33日	15組の絵本作家たちによる絵本の猫たちを紹介。原画やスケッチ、制作資料からは、作家の息づかいまで感じることができます。さまざまな色や形で表現された猫たちを通して、「絵」のおもしろさ、豊かさをお楽しみいただく。
高松市美術館コレクション+ 身体とムービング	7/23(木・祝) ～9/6(日)	40日	「身体(からだ)」と「ムービング(動き)」をテーマに、尼崎市が所蔵する優れた「白髪一雄コレクション」、若手画家である近藤亜樹(札幌在住)のペインティング、そして、体育×美術×ダンスといった異分野がミックスした「んまつーぽす」(宮崎在住、ダンスグループ)が展覧会に参加。当館所蔵作品からは、田中敦子《電気服》をはじめ、“具体”コレクションや絵画制作を一本のアニメーションにした石田尚志の《REFLECTION》(映像)などを紹介する。

世界が絶賛した浮世 絵師 北斎展	9/12(土) ～10/18(日)	32 日	江戸時代後期に活躍し、広重、歌麿、写楽などとともに世界が絶賛した浮世絵の巨匠・葛飾北斎（1760～1849）。本展では、《富嶽三十六景》など代表作のほか、北斎に魅せられたフランス人画家アンリ・リヴィエールによる《エッフェル塔三十六景》をあわせた約 200 点を展示し、北斎芸術の全貌に迫る。
高松コンテンポラリ ーアート・アニ ュアル vol. 09 / 時 どきどき想像	10/31(土) ～12/13(日)	38 日	独創性、創造性のある作家を発掘紹介する、年に一度開催の現代美術のグループ展第 10 回目。「時間」をテーマに、招待美術家による想像力あふれる作品を展示。アーティストトーク等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信する。出品作家：大西康明、蝸牛あや、保井智貴、井上佐由紀、後藤映則
野口哲哉展	2/6(土) ～3/21(日)	38 日	樹脂やプラスチックといった素材を駆使して、鎧兜をまとったリアルな人物像を作り続ける野口哲哉（1980 年高松生まれ）の大規模な個展。その作品は鎧兜や武具などの古いモチーフを用いながら、現代性や人間性を新しく浮かび上がらせるという、ユニークな手法に基づいています。国内外から注目を集め続ける野口哲哉の世界を、初期からの代表作や新作の立体・平面により紹介する。
5 展覧会		181 日	

イ 常設展

展覧会名	会期	日数	内容
第 1 期	4/7(火)～ 6/21(日) *4/22(水) ～5/10(日) 臨時休館	49 日	常設 1 美術にみる動物たち 常設 2 工芸にみる鳥と蝶
第 2 期	6/27(土) ～9/22(日)	76 日	常設 1 New Collection ～現代アート編～ 常設 2 New Collection ～漆芸編～
第 3 期	9/26(土)～ 12/27(日)	80 日	常設 1 [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある 20 世紀以降の世界の美術を順次展示。 常設 2 [讃岐漆芸と金工] 玉椿象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。
第 4 期	1/5(火) ～3/28(日)	70 日	※3/13～3/28 の期間は、常設展示室 1 において「第 38 回日本伝統漆芸展」を開催。
4 期		275 日	



#### ウ 講演会等の開催

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催する。

#### エ 貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

### (2) 教育普及活動等

#### ア 美術講座

##### (ア) ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

##### (イ) 子どものアトリエ

美術作家による連続の美術講座を開催し、子どもたちに学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

##### (ウ) こども+ (こどもアートスペース)

リニューアルオープンにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。

##### (エ) 館長講座「まぶさび教室」

館長による講座を前期・後期で各5回開催する。

#### イ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供する。

#### ウ 美術館学習

美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習及び子ども未来館学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

#### エ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、「おうちでアート鑑賞編」として展覧会作品解説を、また「おうちでアート制作編」として簡単な作品作りを動画配信する。

### (3) 美術館の日

多くの市民が集い、親しみ、にぎわう美術館となるよう、8月第1土曜日(8月1日)を「美術館の日」とし、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

### (4) 美術資料の収集・公開

美術品取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

**(5) 美術館ボランティアの活動**

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア(c i v i)によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエなどのワークショップの補助を行う。

**(6) 高松市美術館サポートショップ事業**

商店街等周辺店舗と連携し、会期中の特別展有料観覧券の半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができ、また、美術館との相互割引を行う「高松市美術館サポートショップ」事業を実施する。

**3 高松市塩江美術館**

**(1) 展覧会**

ア 企画展

展覧会名		会 期	日数	展覧会の内容
1	Step on the Snow 三村昌道展	4/7(火)～ 5/10(日) ※4/22(水)～ 5/10(日) 臨時休館	13日	香川に制作拠点を置いて発表を続けている三村昌道(美術家)の作品を紹介。シルバーの絵具を用いたダイナミックな大作が中心となります。約20年ぶりの香川での個展。
2	—植物を彫る—木版画展	5/16(土)～ 6/13(土)	26日	身近な自然の植物に目を向け、植物の特徴をとらえて制作した池田利夫の木版画作品を当館コレクションの中から紹介。
3	—揺らめく光の中へ— 馬淵晃子展	6/30(火)～ 8/10(月)	37日	香川県在住の馬淵晃子が描く、ゆったりと穏やかな時間の経過を、繊細な描写で表現した作品を紹介。
4	こころの奥にある風景 —原風景を訪ねて—	8/18(火)～ 9/22(火)	32日	コレクションから人々の原風景を探す展示。
5	「岩とイワ」(仮)	9/29(火)～ 11/8(日)	36日	陶芸家及川みのると写真家上樂博之による2人展。
6	コレクション展(仮)	11/17(火)～ 12/27(日)	36日	コレクションからテーマを決めての作品紹介。
7	コレクション展(仮)	1/9(土) ～2/14(日)	32日	コレクションからテーマを決めての作品紹介。
8	コレクション展(仮)	2/20(土) ～3/28(日)	32日	コレクションからテーマを決めての作品紹介。

イ 常設展（3期）

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示する。

展覧会名	会期	日数	展覧会の内容
令和元年度第Ⅲ期 「感性との出会い！」	12/14(土)～ 4/12(日)	11日	3人の作家作品から画面全体に滲み出る感性により表現された作品を紹介。
第Ⅰ期 民話と拓本	4/18(土)～ 8/16(日)	105日	塩江の説話を書き記した「塩江の民話」の挿絵と美術館周辺の句碑を拓本した作品を紹介。
第Ⅱ期 未定	8/22(土)～ 12/6(日)	96日	未定
※第Ⅲ期 未定	12/15(火)～ 4/10(日)	99日	未定

※前年度及び次年度開催(日数区切り)

(2) 美術講座

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講する。

ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容
アーティストレクチャー	4/19(日) ※中止	三村昌道	出品作品解説
企画展関連ワークショップ 「マスキングインクで遊ぼう」	4/26(日) ※中止	三村昌道	大きなロール紙にマスキングインクでとアクリルで作品制作
企画展関連公開制作	展覧会開催 期間中の土 日	三村昌道	出品作家の公開制作
アーティストレクチャー	7/25(土)	馬淵晃子	出品作品解説

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容
風鈴づくり教室	8/22・23	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。1日2回開催。
陶芸教室	9/21・28, 10/5・12・ 19, 11/2	田淵 太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。

ウ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

(3) その他

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

ウ 美術館の日【8月1日(土)】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来。平成21年度から8月の第1土曜日を『美術館の日』と定め、美術館の観覧料免除を実施して、市民の皆様が美術館で一日有意義に過ごしていただけることを趣旨として開催。

エ 美術館のデッキ等の貸出

4 令和2年度予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区分			令和2年度	令和元年度	対前年比
使用料及び手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	30,661	33,235	92.3%
		美術館使用料	14,342	13,991	102.5%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	28	28	100.0%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	1	1	100.0%
	財産売払収入	物品売払収入	1,643	1,458	112.7%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	0	500	—
諸収入	雑入	社会教育費収入	14,862	14,023	106.0%
市債	市債	美術館管理債	0	800	—
計			61,537	64,036	96.1%

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年比
美術館運営費	32,248	29,523	109.2%
美術館管理費	118,527	117,035	101.3%
展覧会費	66,960	69,857	95.9%
美術教育普及費	1,469	1,429	102.8%
美術資料収集費	11,552	12,316	93.8%
塩江美術館美術品等取得基金積立金	1	1	100.0%
計	230,757	230,161	100.3%